

# 湯中通信

## 校長室より

第9号

令和5年12月22日(金)

発行：魚沼市立湯之谷中学校

「寒いね」と話しかければ「寒いね」と  
応える人のいる あたたかさ  
俵 万智



例年通り、銀世界が広がる年末を迎えました。雪国で生活する私たちには見慣れた風景であり、除雪作業は難儀なことです。雪がないと困る人がいることも事実です。雪は春の雪解け水となり、魚沼を美しく彩ります。また、冬から春への喜びは、他の地域にはない開放的な気持ちを味わわせてくれます。冬もまた、趣のあるものにとらえて過ごしたいものです。

本日で2学期が終了しました。生徒は日々の教育活動を通して、心も身体も健やかに成長してきました。成長の差は一人一人に違いはありますが、確実に大人へ近づいていることは、日々の言動の変化や振り返りの記述等から強く感じています。ぜひ、年末の機会にお子さんの成長を確認し合い、その成長をともに喜び褒めていただきたいと思います。

本日の終業式では、今年の自分を振り返って、自分自身と品位の関係について考えてみようと言話をしました。以下の内容をお読みいただき、家庭でも話題にいただけるとありがたいです。それではよいお年をお迎えください。

今日のテーマは「品位」です。品位とは、人にそなわっている気高さや上品さのことです。一つ目は、ある航空会社に勤めていたキャビンアテンダント(客室乗務員)の方のお話です。このキャビンアテンダントの方が言うには、ファーストクラス、ビジネスクラス、エコノミークラスにかかわらず、品位のあるお客さんはある状態を見るとわかるそうです。それは何かというと、「あとが美しい」ということです。立ち去ったあと、使ったあと、食べたあと……などすべての「あと」が美しいそうです。

食べた食器を下げる時の「あと」、飛行機から降りた後の座席周りの「あと」、トイレを使った「あと」。トイレでは洗面台の水滴を拭きあげて帰る方もいるそうです。そんな洗面台の「あと」。どの座席に座っている人でも、品ある人の「あと」は美しいと言っています。みなさんは、自分が残した「あと」はどうなっていますか。

二つ目は、私たちが普段使っている言葉についてです。何気なく話している会話の中で、次の言葉をあなたはよく使っていませんか。「だって」「でも」「どうせ」「だけど」「だったら」。これらは「D言葉」と言われます。この言葉が多い人が周りにいたら、あなたはどんな気持ちになりますか？これらの言葉は全体的に、ネガティブであり言い訳に聞こえる気がしませんか？D言葉の問題点は、難癖をつけられているように受け手が感じてしまうことです。聞いている人は、自分を否定されている、賛同してくれないという印象を与えます。そういう人には、一般的に人は品位を感じないのです。ですから、みなさんは自分がどんな言葉を使っているか、気にしてみてください。自分を振り返ることは難しいことですが、よりよく自分が変わるためにはよいきっかけです。

以前に話したことがあります。湯中生には「横断歩道を渡った後、振り返って運転手に深々とお辞儀をする生徒」がいます。この行為には、とても品位を感じます。それは横断歩道を渡った「あと」が美しいからですね。自分の行動や言葉を通して、品位は徐々に身につけていきます。そして品位のある人物になるということは、自分にとって生きていく上でプラスしかありません。新年を迎える前に、自分の振る舞いを振り返ってみてください。

# 人権を考える取組を通して

蓮池薫さん人権講演会（11/24）  
いじめ見逃しゼロスクール集会（12/1）  
同和教育全校一斉授業（12/7）

11月～12月にかけて、人権を考える期間として各種の取組を重点的に行いました。

11月24日（金）に新潟産業大学の蓮池薫さんをお招きし、「拉致問題と人権」について講演をしていただきました。生徒にとって「昔の話」と感じていた出来事が、現在の問題であり私たちが真剣に取り組まなくてはならない問題だと実感した生徒が多かったようです。蓮池さんの訴えが生徒の心に響いていることがわかりました。



12月1日（金）には、湯之谷小6年生も加わり、いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。小6～中3で構成した異学年グループでの討議を行い、いじめ事例の対応をロールプレイで表現する活動に取り組みました。「いじめをしない、させない、見逃さない」「コミュニケーションをとる大切さ」「相手の気持ちを考えて行動すること」を考える生徒が多かったです。

12月7日（木）に部落差別問題を題材にして全校で一斉授業を行いました。1年生は「文字をおぼえて夕やけが美しい」、2年生は「峠」、3年生は「就職差別をなくすために」を教材にして学習しました。



子ども時代に学ぶ機会を奪われた女性が、晩年に文字を習得するとともに豊かな心も獲得していく生涯。結婚に向けて、周囲の人々の心に潜む差別と闘う男女の姿。出身によって離職するという理不尽さと社会に公然と存在した差別を生む履歴書などから見える就職差別。それぞれの学年に応じた内容で部落差別について学びを深めました。

差別の事実・実態や知識を正しく得た上で、自分事として自分に引き付けて考えました。不当な差別を受けてきた人々の苦しさや差別を乗り越え、強く生きてきた人々の姿を感じ取り、考えを深める授業を展開しました。今後も学習を積み重ね、差別を許さない心、差別を見抜く鋭い感性を養うよう取り組んでいきたいと思ひます。



## 1月の予定

教育期Ⅴ期 次年度への継続期

9日（火）始業式 県スキー大会（～12日）	22日（月）専門委員会 1年スキー教室①
10日（水）学習の確認（全校）	第3回WEBQU
11日（木）学級討議Ⅱ-①	23日（火）1年スキー教室② 学び合いの時間
12日（金）学級討議Ⅱ-② 英検	24日（水）1年スキー教室③ 学び合いの時間
16日（火）3年三者面談①	25日（木）学び合いの時間
17日（水）3年三者面談②	26日（金）学び合いの時間
18日（木）3年三者面談③	29日（月）生徒集会 2年スキー教室①
19日（金）3年三者面談④	30日（火）2年スキー教室② 学び合いの時間